

登山学校

第5回『岩登り入門』 第18期登山学校受講生 和久津淳子 記

【10月5日】机上学習 北浦和カルタスホールにて 9:30~12:00
 午後北浦和公園で学習予定であったが、雨天の為中止となった。

『説明』立ち込み、重心、三点支持、トラバース 『実習』重心のかけ方をペアになり、いすの端につま先で立ってみる。簡易ハーネスをつくる。ロープの結び方。ダブル8の字、ムンターヒッチ、クレムヘイストノット、実技講習で使うヘルメット、ハーネスが貸出しされ、用具の説明をうけてから、実際に装着してみる。実技講習の説明を受け解散となる。簡易ハーネスの作り方、ロープの結び方は、『山での救急法』でも学習したはずだが、忘れてしまっている。



【10月6日】実技講習
 日和田山クライミングゲレンデにて
 9:00~15:30西部池袋線 高麗駅 9時集合班ごとに集まり、日和田山へ移動。9:30到着
 簡易ハーネスをつくる。

女岩西斜面・クレムヘイストノットを結び登る。(ザック、トレッキングシューズを装着したまま)途中で中間支点の通過(カラビナの付け替え方の学習)。女岩南面・懸垂下降で降りる。女岩南面・クライミングシューズ、ハーネスをつけて登る。男岩南面・・・クライミングシューズ、ハーネスをつけて登る(希望者のみ)

女岩南面を登るころから、班ごとではなく登れる人からという感じになっていった。待ち時間に昼食をとる。待ち時間に 岩を見ながら、岩のつかみ方、バランスのとり方、登り方等を丁寧に教えてもらった。15:30 岩登り終了。解散となり、各自で高麗駅へと向かった。私たちは4班なので前の班の様子をよくみて、登るイメージはできていたが、自分で登るとなるとなかなかイメージ通りにはいかない。岩場での懸垂下降はどこに足を置いたらいいのか難しい。恐怖感からかお尻をおとしたり、足を伸ばすことができない。岩登りでは岩が迫り不安を感じたが、運営委員の方々の指示でなんとか登ることができた。岩登りをする事がなくても、バランスのとり方、横移動の方法など安全に登山をする上で大事な事をたくさん教えてもらう事ができた。初めての岩登り、手足に軽い倦怠感を感じながらも、自分で登ることができた達成感に満たされながら、帰宅の途についた。

